

さくら中原 事業者向け児童発達支援自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------------------------------|--|--|----|---------------|-----|-----------------------------------|
| 環境 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 4 | | | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 1 | 3 | | 人数比は十分だが、対応の気配りは必要。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 3 | 1 | | カーペット部分の衛生面にケアが必要 |
| 業務 改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 2 | 2 | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 3 | 1 | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | | 1 | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 3 | 1 | | 連絡報告が主となってしまい支援方法などの意見交換がもっと必要 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 1 | | 保護者ニーズの部分が多く、客観的視点や分析を多く取り入れた方がよい |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 1 | 2 | 1 | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 2 | 1 | 1 | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | | | 季節ごとの行事に向けて工夫している |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 1 | 1 | サービス提供時間の長さの違いが無いので大きくは変化がない |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで計画しているか | 4 | | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | 1 | | |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 3 | 1 | | |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録することを徹底し支援の検証、改善につなげているか | 4 | | | | |

| | | | | | | |
|------------------------|---|---|---|---|---|---------------------------|
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、計画放課後等デイサービス計画のの見直しの必要性を判断しているか | 4 | | | |
| | ⑲ | ガイドラインの 総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っているか | 4 | | | |
| 関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ども状況精通した最もふさわしい者が参画しているか | 2 | | 2 | |
| | ㉑ | 幼稚園・保育園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 4 | | | |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | 4 | 現在医療的ケアが必要な児童がいないです。 |
| | ㉓ | 利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | 4 | | |
| | ㉔ | 今後、進学する学校、放課後等デイサービス事業所にそれまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 3 | 1 | | |
| | ㉕ | 児童発達支援 センターや障害者児童発達支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 1 | 3 | | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流害や障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 4 | 特に設けていない |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | | | 4 | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | | | 送迎時に保護者の方との情報交換をしている |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 2 | 2 | | |
| 保護者への説明責任等 | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | | | |
| | ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 4 | | | |
| | ㉜ | 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | 4 | 保護者同士があまり望んでいないので開催していない。 |
| | ㉝ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を準備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか | 4 | | | |
| | ㉞ | 定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | 2 | 2 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|-----------------|
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | 4 | | | |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者と意思疎通や情報伝達のため配慮をしているか | 4 | | | |
| | ③⑦ | 事業所の行に地 域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 4 | | | |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | | | |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | | | 年2回の避難訓練を行っている。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会確保する等、適切な対応をしているか | 4 | | | 虐待防止委員会を設置している |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的決定し子どもや保護者に事前十分説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか | 4 | | | |
| | ④⑫ | 食物アレルギーもある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | 4 | 現在、アレルギーの児童がいない |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | | | |